



いつでも、どこでも、誰もが安心してよい医療と福祉を受けられるために

卒後臨床研修評価機構  
認定病院

Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

JCEP

# 徳島健生病院

徳島市下助任4丁目9  
088-622-7771



徳島健生病院は、NPO法人卒後臨床研修評価機構（略称JCEP）の調査で、最高認定の「エクセレント賞」をいただきました。  
ぜひ、実際の医療や研修を見に来てください。見学・実習は、学年を問わず受け付けています。



## おすすめ本紹介

### ラーゲリより愛を込めて

辺見じゅん著

第2次世界大戦後の1945年。シベリアの強制収容所では、ソ連軍の捕虜となった日本軍兵士たちが収容されていた。わずかな食料しか与えられず、零下40度という過酷な状況下で重労働を強いられる彼らに、主人公の山本は「生きる希望を捨ててはいけません。帰国の日は必ずやって来ます」と訴え続け、信念と仲間を思う行動に勇気づけられる捕虜たち。

しかし、帰国の日も近くなったある日、山本の体は病にむしばまれていた。

2022年12月に映画化されたので、知っている方も多いかも知れませんが、戦争の実話を知れる作品なのでぜひ読んでください！

事務 近藤 加奈子



# すだち通信

2024春号

## Contents

- ◆ 地域フィールドワーク in 勝浦町・那賀町
- ◆ 奨学金のご案内
- ◆ 連載記事
  - \* 医師紹介
  - \* 職場紹介
  - \* BOOKレビュー
  - \* すだちDEクイズ



## すだちDEクイズ(第12回)

Q: 右の二つの絵には違う個所があります。いくつ違うか、下の3つから選んで回答ください。

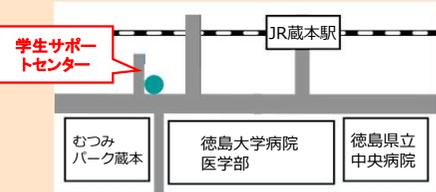
①6か所 ②7か所 ③8か所  
答えが分かった方は、右のGoogleフォームで回答を送ってください。正解者の中から5名の方に図書カードをお送りします。

※回答受付は 5/6(月) まで  
第11回の答え: ③ 超音波検査  
たくさんのご応募ありがとうございました



## ◆各種お問い合わせ・お申込みは…

徳島県民連学ポートセンター  
住所: 徳島市庄町1丁目パークハイツ101  
電話: 088-633-3224  
または 090-7628-2820 (学生担当) まで



## 徳島健康生活協同組合の 奨学金制度

徳島健康生協では、医学生・看護学生のみなさんに学業や学生生活を応援するために、奨学金制度を設けています。

### ◇奨学金貸与額

医学生	一般奨学金	1~2年生	50,000円/月
		3~6年生	80,000円/月
医学生	特別奨学金	全学年	150,000円/月
看護学生		奨学金①	40,000円/月
		奨学金②	60,000円/月

## 奨学生の声

入学して早い段階から医療者として必要な考え方が学べる! 将来のモチベーションアップにつながる!

医学生のついでや企画があり、全国の医学部学生と交流ができる!

大学で学べない社会的な学習ができる!

奨学金をもらえるだけでなく、学校生活や生活面などお金以外のサポートも受けられるよ!

奨学生会議に参加することで、先輩に試験について聞いたり、上級生の大学生活の様子をうかがい知ることができました。

Point! いつでも申請OK

Point! 返済免除規定あり

※奨学金申請や免除規定等、詳しくはお問い合わせください

# 地域で学ぶ 二つのフィールドワーク

2023年12月18日と19日 徳島大学の薬学生・医学生と

- ・人々のくらしや労働が、健康や疾病とどのようにかわりがあるかについて考える。
- ・地域に暮らす人々の思いを知り、住み慣れた土地で健やかに生きるために必要なことは何かについて考える。
- ・患者さんや地域の人たちと、医療機関や行政との協同の取り組みを知ることなどを目的に フィールドワークを実施しました。



## 勝浦町農業体験

②井出農園 参加学生7名  
収穫体験と懇談でミカン農家の実情を学びました。



日本のみかんの収穫量が昔の1/5以下になっていることに驚いた。AIを農業に取り入れるのは若者の考えて、年齢が高いと反対している人が多いと思っていたが、むしろ肯定している人もいることが意外だった。 医学科1年 Nさん



## 那賀町地域医療・介護フィールドワーク

### 那賀町立上那賀病院 院長 花田健太先生のお話と懇談

自己紹介、上那賀を含む那賀町地域のこと、病院紹介の後、どんな患者さんがいるか、事例を通して先生が地域で実践されている地域医療の実際をお話しいただきました。その後学生からの質問にお答えいただき、懇談しました。



林業での転落事故やゆずのとげの話。地域住民の仕事など暮らしを知ることが大切だと感じた。病院内だけでなく、町内の他の病院や町外の病院とも連携をとっており、アプリなどを利用してよりよい医療を提供している点も印象に残っている。 医学科6年 Tさん



那賀町の広さと居住可能面積の違いに驚いた。地域医療特有の疾患（林業で転落・圧迫骨折など）を聞き、幅広い分野の医療を経験できることが、地域医療の魅力だと知ることができた。 医学科4年 Mさん

### 那賀町地域包括支援センター 主任介護支援専門員 湯浅 雅志さんのお話

那賀町で行われている地域包括ケアシステムの実際や、住民を巻き込んだ取り組み実践をお話しいただきました。

地域包括ケアシステムに住民を巻き込み担い手となってもらっている点が印象に残った。これまで医療・介護・福祉が連携してサービスを提供する、というイメージがあったので、住民に〇〇サポーターとなってもらう、住民同士のつながりを作っていることに感銘を受けた。 医学科6年 Tさん



# 医師紹介 コーナー



経歴：徳島市立高校出身  
宮崎大学医学部医学科卒業  
徳島健生病院で2年の初期臨床研修を終えたあと、徳島大学で専門研修(4年)を終え2022年より徳島健生病院に帰任されました。  
資格：日本整形外科学会専門医



徳島健生病院 整形外科医

## 鎌田 光洋 医師

医師8年目、整形外科の鎌田です。

私は内町小学校・徳島中学校・徳島市立高校を卒業した、まさに徳島っ子です。

初期臨床研修を徳島健生病院で終え、後期研修は徳島大学医学部整形外科の専門医プログラムを修了し、2022年4月に整形外科医として徳島健生病院に帰院し診療を行っております。

今私は、当院において大腿骨近位部骨折を中心とした骨折手術を多く担当しております。

その中で本当に昔と比較して平均寿命が延びたと実感します。80歳・90歳台の手術が日常です。

それだけ高齢になると、患者さまの多くは、整形外科疾患以外にも既往症・併存症があり、一筋縄ではいきません。

具体的には高血圧や糖尿病に始まり、透析されている方や認知症が強い方など、それぞれです。

とにかく早期に骨折手術を行い、骨折によるADL損失を極力発生させないよう努力をしておりますが、そのためには院内での他科との協力は欠かせません。

当院では他科連携のハードルが低く、気軽に相談できる風潮があり大いに助かっております。大腿骨近位部骨折は通称「骨卒中」とも呼ばれ、2050年まで増加する見込みのようで、大きな社会問題となる疾患です。

徳島は人口あたりの医師数は日本最上位ですが、整形外科の手術加療供給量は需要に追いついていない現状があります。整形外科医として手術加療によって地域に貢献できるよう、骨折を早期に手術できる体制を構築・維持していけるよう、努力を続けていきます。AIが仕事を奪うとよく言われますが、奪れにくい科としても整形外科は代表的だと思います。

徳島健生病院の業務内容などに興味ございましたら、是非病院実習をしてみてください。

私は病院実習を複数回行って当院で勤務したいと思えました。

ぜひ一緒に働きましょう。



## 職場紹介

### 徳島健生病院 デイケア室

当院ではリハビリに特化した1～2時間の短時間デイケア（1日5クール）を医師・看護・介護職員、PT・OTで運営しています。

安心して在宅生活が継続できるよう、利用者一人ひとりの心身機能や住環境等をしっかり把握しサポートしています。日々の体調管理やリハビリの他にも、定期的に体力チェックを行い、グラフ化しフィードバックをしています。変化が目に見えるのでモチベーション向上につながり、満足度も向上すると考えています。目標を持っていきいきとリハビリに取り組まれている姿を見ると、私たち職員もとてもやりがいを感じます。

一緒に在宅生活をサポートしていきませんか？

